



Amazon Web Services のための 運用支援サービス サービスのご紹介

2023/11/21
株式会社 日立ソリューションズ



1. サービスの概要

1.1 AWSの運用監視をサービス提供

- AWS の運用監視は、サービスを活用して、**素早く・お手軽**に実現しましょう！



- こんなお客様に**最適**です



手間を掛けずに AWS の運用監視を実現したい



システムの運用監視をリーズナブルに アウトソース したい



サーバ要らず

- 運用エージェントをインストールするだけで、すぐに利用開始することが可能
- 別途マネージャサーバを構築して、運用するといった無駄なコストは発生しない



オールインワン

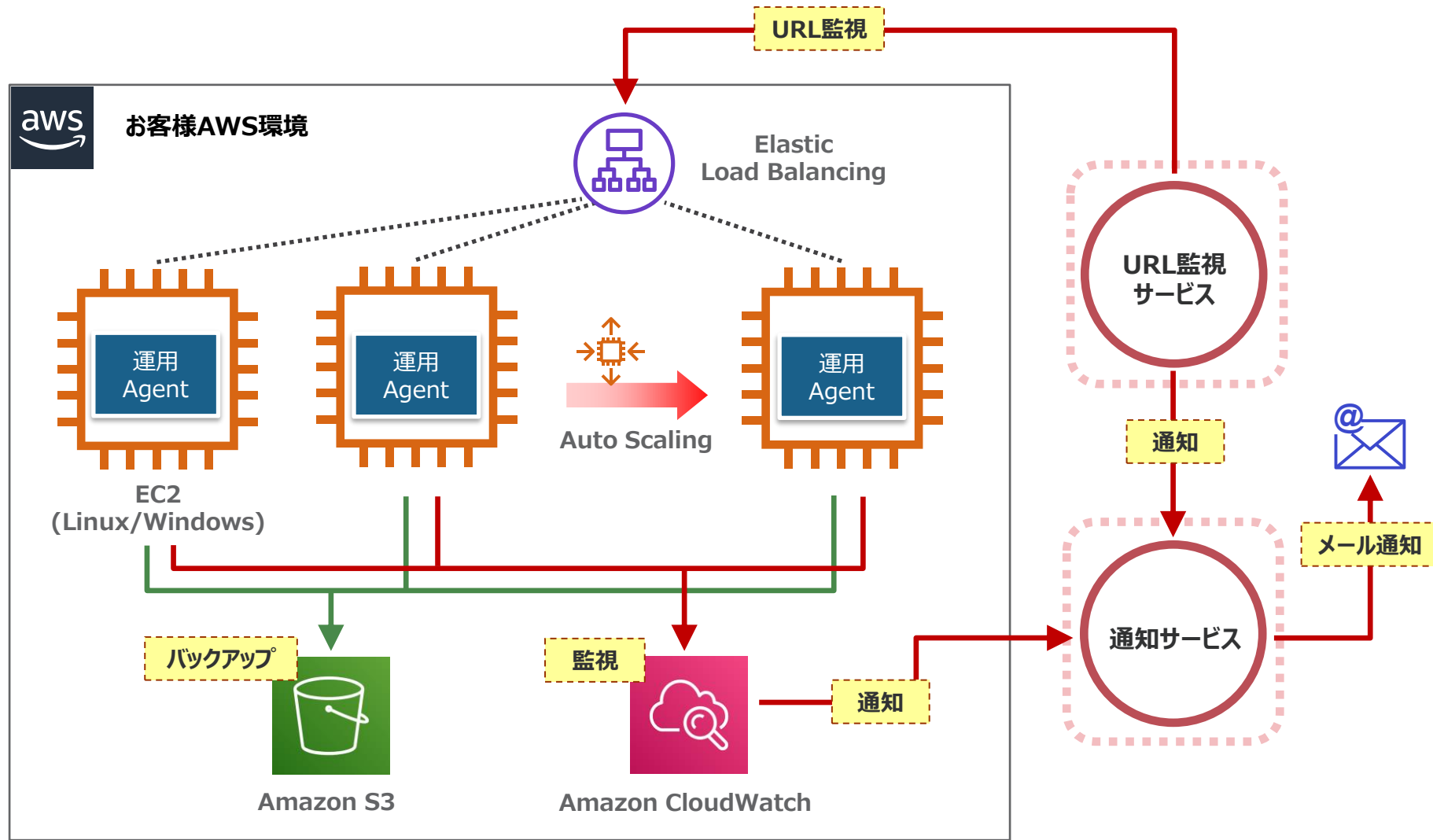
- 本サービスだけで、AWSにおいて必要となる全ての運用監視を実現可能
- システム監視において必要となる全ての監視機能を提供（死活監視、リソース監視、プロセス監視、ログ監視、URL監視）
- スケジュール管理によるバックアップ機能を標準提供
- 24時間365日体制のコールセンタ・オペレータもオプションにて提供



クラウドにマッチした料金体系

- サービス利用時間による従量課金制（月額利用料請求）
- 少ないコストで導入し、必要な時に必要なだけご利用していただくことが可能

1.3 システム構成



弊社でホスティング

ご提供ソフトウェア

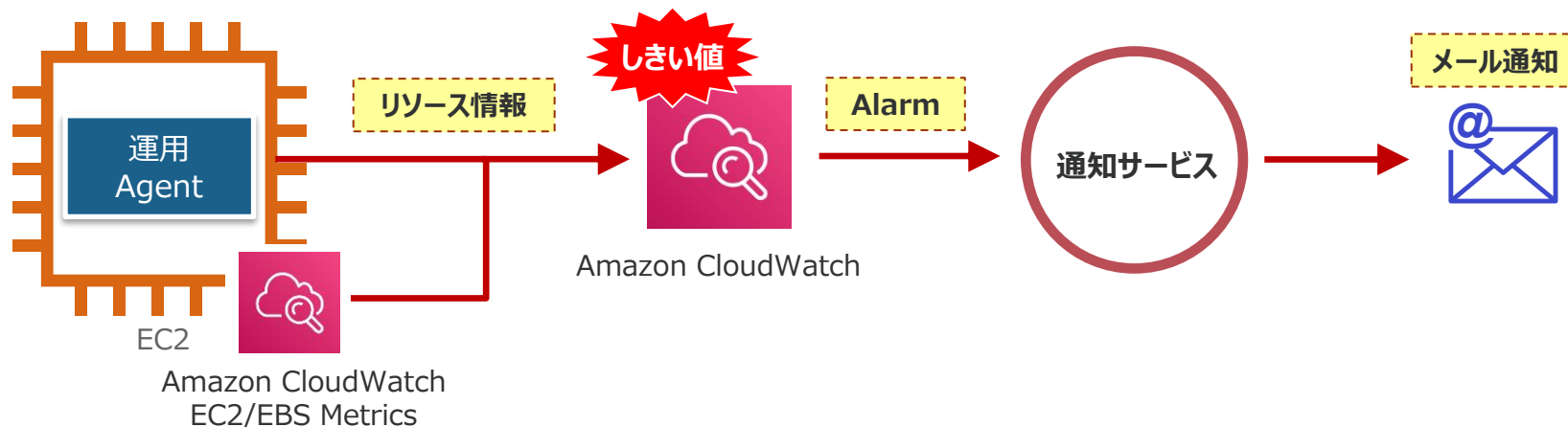
1.4 機能一覧 (1/2)

機能		内容
監視・バックアップサービス		「運用エージェント」により「監視・バックアップサービス」を提供
インスタンス死活監視		AWSハードウェアとEC2インスタンスのソフトウェアとネットワークの状態チェック
リソース監視	CPU利用率	CPU利用率のしきい値監視
	CPUクレジット数	CPUクレジット数のしきい値監視
	ロードアベレージ	ロードアベレージのしきい値監視
	メモリ利用率	メモリ利用率のしきい値監視
	ディスク利用率	ディスク利用率のしきい値監視
	Swap利用率	Swap/ページファイル利用率のしきい値監視
	ディスク読み込み/書き込み回数	ディスクの読み込み/書き込み操作の回数のしきい値監視
	ディスク読み込み/書き込みデータ量	ディスクの読み込み/書き込みデータ量のしきい値監視
	ネットワーク受信/送信データ量	ネットワークの受信/送信データ量のしきい値監視
カスタムリソース監視		任意のシステムリソースのしきい値を監視
プロセス監視	プロセス監視	プロセスの稼働数のしきい値監視
	Windowsサービス監視	Windowsサービスの稼働状態の監視
ローカルURL監視	応答コード・応答時間	特定のURLにHTTP(S)リクエストを送信し、応答コードと応答時間をチェック
ログ監視	ログファイル監視	ログファイルを監視し、パターンマッチした場合にログ内容を通知
	Windowsイベントログ監視	Windowsイベントログを監視し、パターンマッチした場合にログ内容を通知
ログ転送	ログファイル転送	ログファイルの内容を CloudWatch Logs に転送
	Windowsイベントログ転送	Windowsイベントログの内容を CloudWatch Logs に転送

1.4 機能一覧 (2/2)

機能		内容
監視・バックアップサービス（続き）		
バックアップ	ボリュームバックアップ	スケジュールに従いEBSのSnapshotを取得
	ファイルバックアップ	スケジュールに従いファイルをS3にバックアップ
コマンド実行	スケジュール実行	スケジュールに従い任意のコマンドを実行
	リソース監視トリガ実行	リソース監視・プロセス監視の結果に従い任意のコマンドを実行
	ログ監視トリガ実行	ログ監視の結果に従い任意のコマンドを実行
URL監視サービス		弊社環境にホスティングしたサーバにて「URL監視サービス」を提供
URL監視	応答コード・応答時間	特定のURLにHTTP(S)リクエストを送信し、応答コードと応答時間をチェック
通知サービス		弊社環境にホスティングしたサーバにて「通知サービス」を提供
メール通知	EC2監視通知	監視・バックアップサービスと連携してメール通知を実施
	URL監視通知	URL監視サービスと連携してメール通知を実施
	AWSサービス監視通知	Amazon CloudWatch と連携してAWSサービスのアラートをメール通知

1.5 特徴：監視機能①



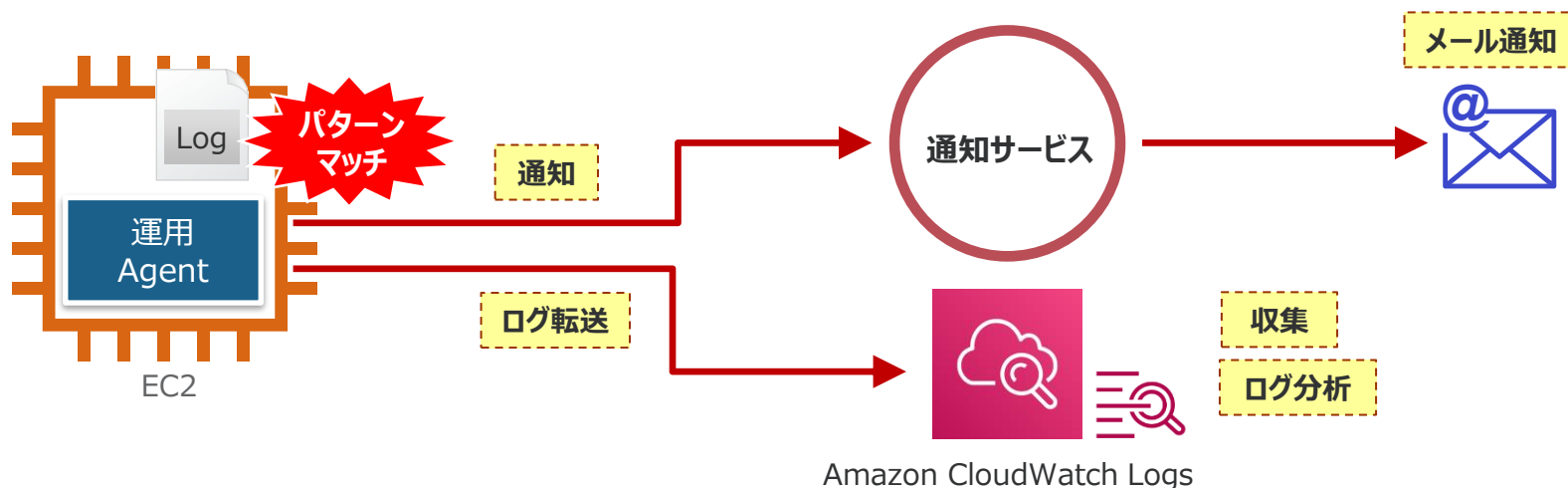
■ 死活監視・リソース監視・プロセス監視・サービス監視

- システム運用において必要となる情報を標準で収集
- カスタムスクリプトを組み込むことにより、任意のシステムリソースを監視することも可能
- しきい値を超えた場合には、通知サービスを通じてメール通知
- 各種リソース情報は Amazon CloudWatch に収集され、マネージメントコンソールからサーバ状態を確認可能

■ ローカルURL監視

- 運用エージェントがHTTP(S)リクエストを送信し、応答コードと応答時間をチェック
- 異常を検知した場合には、通知サービスを通じてメール通知
- Webサーバの応答時間は Amazon CloudWatch に収集され、マネージメントコンソールからサーバ状態を確認可能

1.6 特徴：監視機能②



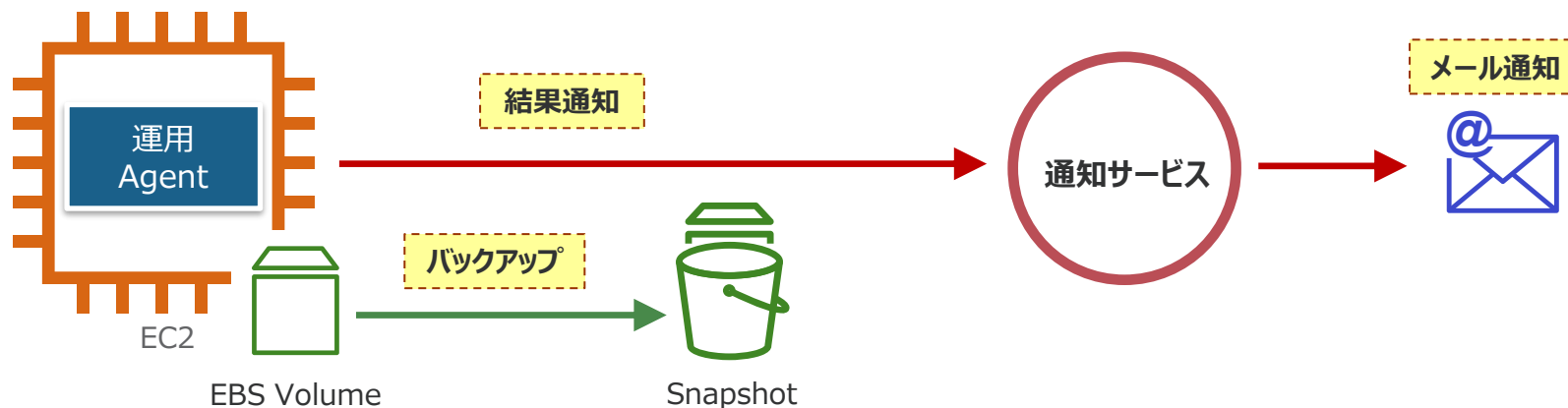
■ ログ監視

- 運用エージェントが ログファイル をリアルタイムで監視
- 運用エージェントが Windowsイベントログ をリアルタイムで監視
- 監視条件に合致した場合には、通知サービスを通じてログの内容をメール通知

■ ログ転送

- 運用エージェントが ログファイル・Windowsイベントログ を Amazon CloudWatch Logs に転送
- 複数のサーバのログを集中管理し、マネージメントコンソールからサーバのログを確認可能
- Amazon CloudWatch Logs Insights などを利用して、ログの分析も可能

1.7 特徴：バックアップ機能



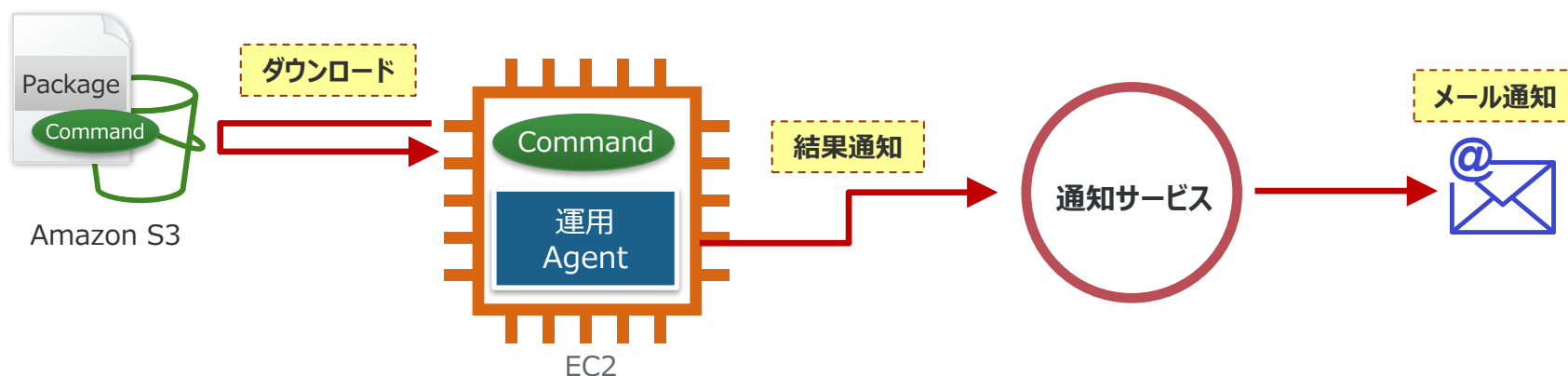
■ ボリュームバックアップ

- 任意のスケジュールで EBSボリューム のスナップショットを作成
- バックアップしたスナップショットの世代管理も可能
- バックアップの「前処理・後処理」として、サービスの起動・停止、任意のコマンド実行が可能
- バックアップが完了した場合には、通知サービスを通じてメール通知を実施

■ ファイルバックアップ

- 任意のスケジュールでファイルをアーカイブして Amazon S3 にバックアップ
- バックアップの「前処理・後処理」として、サービスの起動・停止、任意のコマンド実行が可能
- バックアップが完了した場合には、通知サービスを通じてメール通知を実施

1.8 特徴：コマンド実行と配布パッケージ



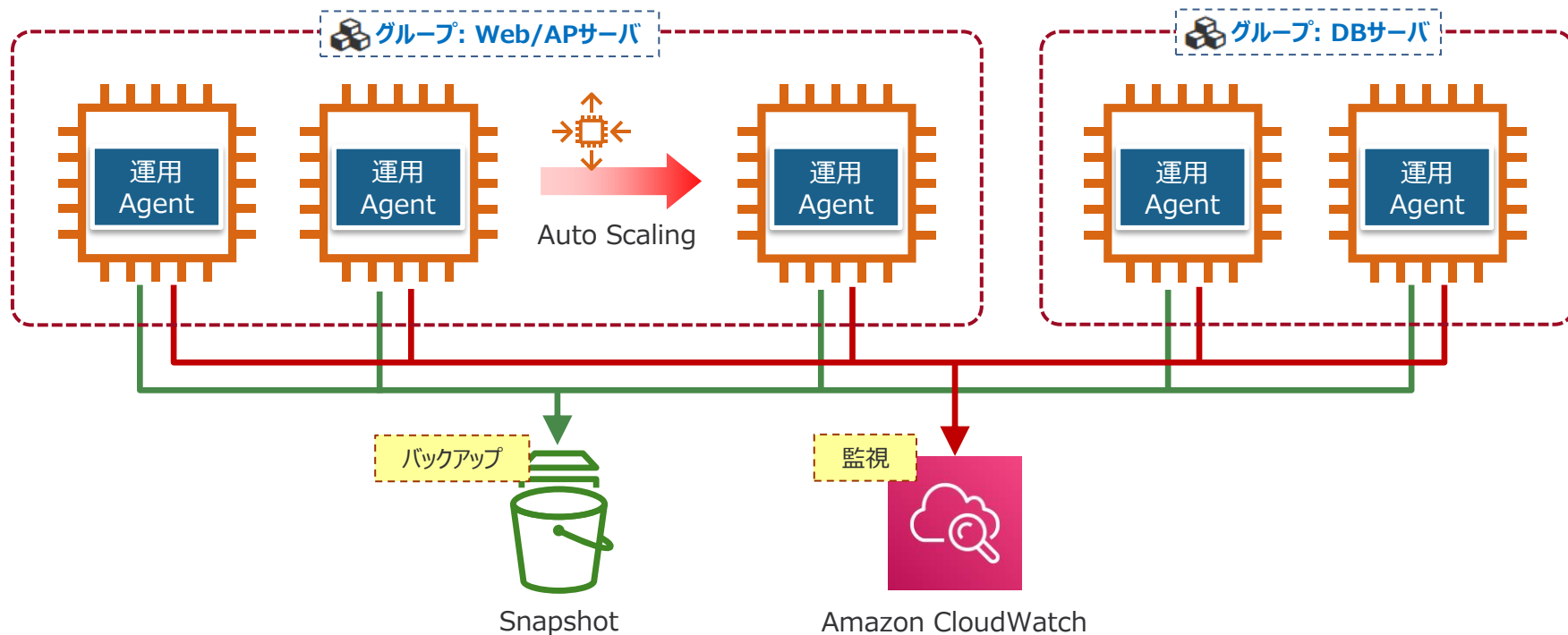
■ コマンド実行

- 任意のスケジュールで任意のコマンドを実行
- リソース監視・プロセス監視で異常が検出された場合に任意のコマンドを実行
- ログ監視の監視条件に合致した場合に任意のコマンドを実行
- コマンドの実行結果は、通知サービスを通じてメール通知を実施

■ 配布パッケージ

- 各種ファイルを配布パッケージとして纏めて、「Amazon S3」から配布することが可能
- 配布パッケージにより配布されたファイルは、運用エージェントの機能から幅広く利用することが可能
 - スケジュールでのコマンド実行
 - リソース監視・プロセス監視、ログ監視からのコマンド実行
 - バックアップでの前処理・後処理

1.9 特徴 : Auto Scaling 対応



■ Auto Scaling 対応

- Auto Scaling によりインスタンスが自動的に起動/停止する環境においても、運用監視を行うことが可能
- Auto Scaling に追従して、自動的に運用監視の設定は更新される

■ グループによる管理

- Webサーバ、アプリケーションサーバ、DBサーバ といった単位で、グループに分けて管理が可能
- グループに対して、監視・バックアップの設定を実施



2. 運用代行オプション

2.1 運用代行オプションの概要（1/2）



お客様システムの運用を全てお任せください

- AWS のシステム運用経験が豊富なエンジニア・運用スタッフが責任を持って対応
- 24時間365日 のシステム運用監視をご提供



24時間365日システム監視

AWS上のお客様システムに対する各種監視を実施します。



お客様

システム運用

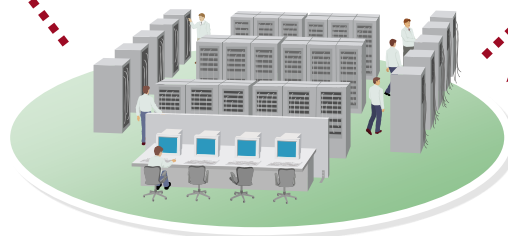
障害一時対応や定常運用などシステム運用業務を請け負います。

アラート発生時の通知

緊急度に応じてメールおよび電話による通知を行います。

セキュリティ対策

不正侵入検知/防御製品を用いてお客様システムを防御します。



24時間365日サポート窓口

メールおよび電話によるサポート窓口をご提供します。

2.1 運用代行オプションの概要（2/2）

■ 24時間365日にてアラート発生時の通知・一次対応を実施

- 専門の運用スタッフが、24時間365日でお客様システムを監視
- アラート発生時には、予め規定されたコールフローに従い、電話・メールによる通知を実施
- アラート発生時には、予め規定された手順に従い、一次対応を実施
- サーバ再起動、データリストア、ログ取得、サイト閉塞 など対応可能

■ 定常運用業務代行

- 専門の運用スタッフが、予め規定されたシステム運用業務を代行
- 定期的なサーバリブート、稼働レポート作成 など対応可能

■ 24時間365日のサポート窓口

- 24時間365日の電話・メールによるサポート窓口をご提供
- 発生したアラートに関する問い合わせを受付
- ご依頼を受けて、一次対応作業を任意のタイミングで実施することも可能



■ セキュリティ対策

- 「Trend Micro Cloud One - Workload Security」を用いて、IDS/IPS・改ざん検知・ウィルス対策 など包括的なセキュリティ対策を実施
- セキュリティアラート発生時には、電話・メールによる通知を実施
- セキュリティアラート発生時には、予め規定された手順に従い、一次対応を行うことも可能

■ 運用代行オプションは“チケット制”で運用作業を実施

- お客様が購入されたチケット数の範囲内で運用作業を実施
- 全ての運用作業は事前に手順書を用意し、それぞれに対して消費チケット数を規定
- 本サービスの「標準手順書」以外に、お客様の要件に応じて「カスタマイズした手順書」、「お客様にて作成した手順書」を受け入れることが可能

運用作業		消費チケット数
アラート連絡	アラートを検知した際に、サポート窓口から電話による連絡を実施。	1チケット/1回
インスタンスの起動・停止	アラートを検知した際に、予め決められた作業手順に沿って「アラート連絡」と「インスタンス起動・停止作業」を実施。	2チケット/1回
ミドルウェアの起動・停止	アラートを検知した際に、予め決められた作業手順に沿って「アラート連絡」と「ミドルウェアの起動・停止作業」を実施。	2チケット/1回
ログの取得	アラートを検知した際に、予め決められた作業手順に沿って「アラート連絡」とOS・ミドルウェア・アプリケーション等の「ログ取得作業」を実施。	2チケット/1回
EC2インスタンスのリストア	アラートを検知した際に、予め決められた作業手順に沿って「アラート連絡」とAMI や EBS Snapshot から「EC2インスタンスのリストア作業」を実施。	2チケット/1回
サイト閉塞	アラートを検知した際に、予め決められた作業手順に沿って「アラート連絡」と「Sorryサイトへの切り替え作業」を実施。	2チケット/1回
稼働レポート作成	毎月10日までに稼働レポートを提供。レポート対象は「サーバのリソース状況」「通知メール数」「インシデント数」など。	2チケット/1ヶ月
任意の運用作業	お客様のご要望に応じて、個別に規定した作業内容を実施。	個別に規定



3. ご提供価格

3.1 ご提供価格 (1/3)

■ 基本サービス

- 利用時間に基づく月額料金にてご提供します
 - 「監視・バックアップサービス」は“運用エージェント”の利用時間に基づいて課金されます
 - 「URL監視サービス」は監視時間に基づいて課金されます
- 監視・バックアップサービスでは課金方式として、「オンデマンド」と「リザーブド」の2種類をご提供します
 - 「オンデマンド」は、一時費用なしにご利用可能
 - 「リザーブド」は、事前に一時費用をお支払い頂くことで、その時間当たりの料金が割引されるオプション
- 運用エージェントの導入作業を「導入代行サービス」により請け負うことも可能です
 - 基本料金では、最大5インスタンスまで対応可能です
 - インスタンス数が5台を超える場合は、インスタンス単位で追加料金が発生します
 - お客様自身で運用エージェントをインストールする場合は、費用は発生しません

サービスメニュー		価格（一時費用）	価格（月額費用）
監視・バックアップサービス	オンデマンド	－	¥14 /インスタンス数・時間
	リザーブド（1年）	¥10,000 /インスタンス数	¥10 /インスタンス数・時間
URL監視サービス		－	¥7 /URL数・時間
導入代行サービス	基本料金（5インスタンスまで）	¥120,000/システム	－
	追加料金（インスタンス単位）	¥20,000/インスタンス	－

3.1 ご提供価格 (2/3)

■ 運用代行オプション

- チケット数に基づく月額料金にてご提供します
- 基本チケット数を規定して、ご契約していただきます
 - 月次の消費チケット数が基本チケット数を超えた場合は、追加チケットが消費されます
 - 基本チケット数と消費された追加チケット数の合計から、当月の利用料が算出されます
 - 余った基本チケットを翌月へ持越すことは出来ません
 - 基本チケットは、5チケットからのご提供となります
- 運用代行オプションを開始する場合には、導入作業として一時費用が発生します
 - 導入作業において、手順書の受け入れ、運用リハーサル を実施します
 - お客様の要件に応じてカスタマイズした手順書、お客様が用意した手順書 を受け入れる場合は、費用は個別見積もりとなります
 - 運用代行オプションを利用される場合には、必ず、導入作業費用が発生します

サービスメニュー		価格（一時費用）	価格（月額費用）
運用代行オプション	基本料金（5チケット～）	－	¥75,000 ～
	追加料金（1チケット）	－	¥15,000 /チケット
	導入作業費用	¥200,000～/システム	－

3.1 ご提供価格 (3/3)

■ Cloud One - Workload Security オプション

- 「TrendMicro Cloud One - Workload Security」は、サーバセキュリティに必要な機能を備えたオールインワンソリューションです
- 監視対象のインスタンス数に基づいた月額利用料でご利用いただけます
- 2種類のラインナップでご提供します
 - **Cloud One WS Enterprise** : 全機能を利用可能
 - ✓ 不正プログラム対策、Webレピュテーション、ファイアウォール、IPS/IDS、アプリケーションコントロール、変更監視、セキュリティログ監視
 - **Cloud One WS Essential** : ウィルス対策機能のみ利用可能
 - ✓ 不正プログラム対策、Webレピュテーション
- 導入作業を「導入代行サービス」により請け負うことも可能です
 - 弊社提供のパラメータシートを回答して頂き、その内容を元にセキュリティ監視設定を行います
 - お客様自身で Workload Security を導入する場合は、費用は発生しません

サービスメニュー		価格（一時費用）	価格（月額費用）
Cloud One – Workload Security オプション	Cloud One WS Enterprise	－	¥11,000 /インスタンス数
	Cloud One WS Essential	－	¥2,000 /インスタンス数
	導入代行サービス	個別見積もり	－

3.2 システム要件

■ 運用エージェント：サポートプラットフォーム

項目	内容	
サポートプラットフォーム	Amazon EC2	
サポートOS	Linux	RedHat Enterprise Linux 7.X
		RedHat Enterprise Linux 8.X
		RedHat Enterprise Linux 9.X
		Amazon Linux 2 (Kernel 4.14)
		Amazon Linux 2 (Kernel 5.10)
		Amazon Linux 2023
		Ubuntu 20.04 LTS
		Ubuntu 22.04 LTS
	Windows	Windows Server 2016
		Windows Server 2019
		Windows Server 2022

■ 運用エージェント：推奨スペック

項目	内容
EC2インスタンスタイプ	t2.small 以上
CPU	2.5GHz 以上、vCPU数 1以上
メモリ	2GB 以上

HITACHI

Inspire the Next

- 本資料中の会社名、商品名は各社の商標及び登録商標です。
- 本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。
- 製品の仕様は、改良の為、予告なく変更する場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、 必要な手続きをお取りください。